【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公開番号】特開2006-74163(P2006-74163A)
【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)
【年通号数】公開・登録公報2006-011
【出願番号】特願2004-252300(P2004-252300)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/387　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　3/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　3/40　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/387
Ｇ０６Ｔ　3/00　３００
Ｇ０６Ｔ　3/40　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の画像と第２の画像とを合成して表示する画像処理装置において、
前記第１の画像上に前記第２の画像を合成して合成画像を生成する制御部と、
前記合成画像を表示する表示部と
を具備し、
前記制御部は、前記第２の画像が前記合成画像上に占める割合を該合成画像の表示形式に応じて変化させて合成する
ことを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
前記表示形式がサムネイルである場合は、前記第２の画像が合成画像上に占める割合を通常の画像に合成する場合よりも大きくして前記第１の画像と合成する
ことを特徴とする請求項１記載の画像処理装置。
【請求項３】
前記第２の画像は、文字イメージであることを特徴とする請求項１または２記載の画像処理装置。
【請求項４】
前記文字イメージは、前記第１の画像を撮影した撮影日であることを特徴とする請求項３記載の画像処理装置。
【請求項５】
前記合成画像上に占める割合が異なる複数の画像を有する情報記憶部をさらに具備し、
前記制御部は、前記合成画像の表示形式に応じて前記情報記憶部から画像を抽出し、抽出した前記画像を第２の画像として前記第１の画像と合成する
ことを特徴とする請求項１または２記載の画像処理装置。
【請求項６】
第１の画像と第２の画像とを合成して表示する画像処理装置において、

前記第１の画像上に前記第２の画像を合成して合成画像を生成する制御部と、
前記合成画像を表示する表示部と、
前記合成画像の表示形式を指示する操作部と
を具備し、
前記操作部で表示形式の変更が指示されると、
前記制御部は、変更後の前記表示形式に応じて前記第２の画像が合成画像上に占める割合を変化させ、変更後の表示形式の前記第１の画像上に該第２の画像を合成して前記合成画像を生成する
ことを特徴とする画像処理装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像処理装置
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、画像処理装置に関し、特に、画像に撮影日などの情報を合成してサムネイルを表示することが可能な画像処理装置に関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
そこで本発明では、画像に合成した情報をサムネイルで容易に確認することが可能な画像処理装置を提供することを目的とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
以下、本発明に係る画像処理装置を実施するための最良の形態について、添付図面を参照して詳細に説明する。